

平成22年度
事業計画書

事業名

育成事業
社会適応推進事業
派遣事業
調査研究事業
管理部門(法人会計)

平成22年4月1日から
平成23年3月31日まで

公益財団法人 北海道盲導犬協会
札幌市南区南30条西8丁目1番1号

平成22年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業計画

育成事業 公益目的事業1

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 盲導犬の訓練および貸与に関すること

1) 貸与予定頭数は17頭とする。

(北海道9頭、秋田2頭、岩手2頭、新潟2頭、その他2頭)

2) 平成23年度対象となる訓練犬頭数は24～30頭とする。

対象：平成21年度委託頭数72頭、ラブラドル70頭、ゴールデン2頭、

F1-F2 0頭 (F1：雑種一代目、F2：雑種二代目)

3) 盲導犬ユーザーのフォローアップ体制を強化する。

2. 繁殖に関すること

1) 今年度出産件数は20腹前後とし、出産頭数は80～100頭を計画する。

2) 繁殖犬として雄1～2頭、雌5～6頭を確保する。

注) 繁殖犬犬種：ラブラドルレトリバー、ゴールデンレトリバー、

F1 (雑種1代目：ラブラドル×ゴールデン)・F2 (F1×ラブラドル)

3) 凍結精子の活用により、雄の繁殖犬管理頭数を見直す。

4) 子犬を出産した繁殖犬飼育委託家庭へ訪問(1出産につき6回程度)を実施する。

(出産時、狼爪切除、10日目、離乳時、30日目、ワクチン接種)

5) 獣医学、繁殖学、育種学に基づいた繁殖システムを構築し、繁殖業務に応用する。

6) 繁殖業務にK9データベースを活用する。

注) K9：英語のキャナイン＝犬という意味をもじって命名。帯広畜産大学、国立遺伝学研究所と共同で作成・運用している繁殖のデータを管理することを主目的とし

たデータベースで、現在主にA G B N加盟施設が活用している。

- 7) 所有繁殖犬の凍結精液を作成しストックする。
- 8) 受精卵の採取、凍結保存、移植を繁殖業務に取り入れることで、限られた遺伝子資源を有効活用する。
- 9) 遺伝性疾患の排除に努める。
- 10) 繁殖計画説明会を実施する。
- 11) 繁殖体制を検討する。
- 12) 繁殖犬委託規定の見直しをする。

3. パピーに関すること

- 1) 平成23年度訓練犬適性評価対象となる子犬65～75頭を飼育委託する。
- 2) パピーウォーカー通信を月1回計12回発行する。
- 3) パピーウォーカーへの家庭訪問ならびに講習会を定期的を実施する。
- 4) パピーウォーキングにおけるマニュアル等の見直し、改善を行なう。

4. 老犬（引退犬）に関すること

- 1) 老犬の精神状態や健康状態を十分に把握し充実した生活が送れるよう環境を整える。
- 2) 情報の発信を目的とした通信文を年3回発行する。
- 3) 定期的（3～4ヶ月毎）な家庭訪問と健康状態に応じた家庭訪問を実施する。

5. 所有犬の飼育管理に関すること

- 1) 診療施設の設備・薬品を適正に管理する。
- 2) 所有犬の飼育管理に必要な措置を講ずる。
- 3) 犬舎・犬体管理に関するボランティアの導入を検討する。

6．北海道盲導犬協会東北ホワイエの活用に関すること

- 1) 当協会東北地方のユーザーや盲導犬希望者に対してフォローアップや相談対応の向上に努める。
- 2) 当協会東北地方のユーザーへ交流の場として提供する。

7．養成及び資質向上に関すること

- 1) 全国盲導犬施設連合会盲導犬歩行指導員等資格認定審査に該当者を受けさせる。
- 2) 研修生に対して盲導犬訓練士、盲導犬歩行指導員養成カリキュラムに基づいた養成を実施する。
- 3) その他の重要な研修会・セミナーを受講させて技術・知識・資質の向上を図る。
- 4) 職場内研修・職場内交流を活発化させ職員の技術・知識・資質の向上を図る。
- 5) 繁殖担当者の養成を実施する。

8．管理に関すること

- 1) 施設の保全と維持管理の合理的な運営をする。

9．財源確保に関すること

- 1) ミーナの募金箱設置協力者の拡大と入金率の向上を図る為募金箱管理の見直しを図る。
ミーナの募金箱新規設置目標を500個とし総設置数を5,800個とする。
- 2) サポート会員制度の新規協力者の拡大と継続率の向上を図り、新規会員数を300件とし総会員数を2,700件とする。
- 3) 寄付協力者への訪問を行い継続支援の依頼をする。
- 4) 街頭募金の実施場所・時間の検討を行なう。
- 5) 盲導犬啓発目的商品の開発、頒布を行なう。
- 6) 盲導犬使用者・視覚障がい者・協会所有犬飼育ボランティアへの犬具、日常生活用具、飼料等の頒布を行なう。

- 7) パンフレット、インターネットの活用により新規協力者の開拓をする。
- 8) 企業、ライオンズクラブ等団体への事業支援依頼をする。

10. 盲導犬の普及啓発に関すること

- 1) 協会広報誌『協会だより』を2回発行する。
- 2) 当協会ホームページのリニューアルを行なう。
- 3) 関係団体、商業施設、企業等の協力を得て盲導犬キャンペーン活動を実施する。
- 4) 盲導犬体験セミナー・共同訓練体験会等、盲導犬取得希望者への説明会を開催する。

11. 関連団体への協力に関連すること

- 1) 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会事業へ協力する。
- 2) 全国盲導犬施設連合会事業へ協力する。
- 3) 北海道盲導犬ユーザーの会事業へ協力する。
- 4) 北海道盲導犬協会視覚障害仲間会事業へ協力する。
- 5) その他の各地域の当協会盲導犬使用者の会事業へ協力する。
- 6) 国際盲導犬連盟(International Guide Dog Federation)事業へ協力する。
- 7) AGBN事業に協力する。

平成22年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業計画

社会適応推進事業 公益目的事業2

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 指導内容

1) 対象者

北海道内在住の視覚障がい者および、当協会卒業の盲導犬ユーザー

2) 指導方法

(ア) 短期入所指導

訓練生が施設に入所して訓練を受ける方法で1回の入所は概ね3週間。さらに入所期間終了直後に2~3日の訓練生自宅周辺でのフォローアップを実施している。

(イ) 在宅指導

訓練生の自宅或はその周辺地域を利用して訓練を実施する方法。概ね週1回の訓練であることから訓練期間は6ヶ月~1年となる。

(ウ) 通所指導

訓練生が都度施設に来所して訓練を受ける方法。

3) 指導数

(ア) 短期入所指導は24ケースを予定する。

(イ) 在宅指導は12ケースを予定する。

(ウ) 通所指導は3ケースを予定する。

4) 指導課目

(ア) 白杖歩行訓練(白杖を使って安全に目的地まで歩く訓練)

(イ) 日常生活動作訓練(身の回り、家事、調理などの訓練)

(ウ) 点字訓練(点字の読み書き訓練)

(エ) パソコン訓練(音声や文字拡大ソフトを使用してパソコンを操作する訓練)

(オ) ロービジョン訓練(低視力を補うルーペ、拡大器等の補助具を利用する訓練)

- (カ) 盲導犬取得に向けた必要な訓練
- (キ) 職場復帰に必要な訓練と支援
- (ク) 進学に必要な訓練と支援
- (ケ) 訓練や福祉サービスに関する相談

2. 養成及び資質向上に関すること

- 1) 視覚障害リハビリテーション研究発表大会へ派遣する。
- 2) 関連する研修会・セミナーを受講させ、技術・知識を高め、資質の向上を図る。

3. 生活訓練の説明及び啓発に関すること

- 1) 眼科医療機関、ならびに盲学校等教育機関に対する視覚障がいリハビリテーションの啓発と連携の強化を図る。
- 2) 福祉事務所等行政機関に対する情報提供と連携を図る。
- 3) 当協会登録ボランティアに対し、手引き等の視覚障害者と接するための講習会を実施する。
- 4) 育成事業と連携した啓発活動を実施する。

4. その他関連すること

- 1) 北海道盲導犬協会視覚障害仲間会事業へ協力する。
- 2) 道内の関連団体（訓練・医療・教育機関）との連携を強化する。
- 3) 道内の視覚障がいに携わる人たちのネットワーク作りを行なう。
- 4) 視覚障がい者への効果的な情報提供手段を検討する。

平成22年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業計画

派遣事業 公益目的事業3

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 講師派遣

- 1) 教育機関が実施する盲導犬・視覚障害リハビリテーションに関する講座への講師派遣依頼には可能な限り積極的に対応する。
- 2) 福祉関係事業者等が実施するガイドヘルパー講習会への講師派遣依頼に対応する。
- 3) 道内市町村で開催される福祉関連イベントへの講師派遣依頼に対応する。

2. 講習会・イベントの実施

- 1) 個人を対象とした見学会を定期的を実施する。
- 2) 盲導犬取得申込者を対象として共同訓練体験会を開催する。
- 3) 盲導犬取得に関心のある視覚障がい者を対象とした盲導犬宿泊体験セミナー開催する。
- 4) 北海道眼科医会との共催による社会適応訓練講習会を開催する。
- 5) 東北地方の視覚障がい者を対象として社会適応訓練講習会を開催する。

平成22年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業計画

調査研究事業 公益目的事業4

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 盲導犬に関する調査研究

- 1) 大学等専門機関と連携し、繁殖・育種・育成に関する研究を行なう。
- 2) 国内外の盲導犬事業に関する情報・資料収集を行なう。

2. 視覚障害リハビリテーションに関する調査研究

- 1) 歩行補助具、日常生活用具等の情報・資料収集を行い視覚障がい者へ効果的に情報提供を図る。

平成22年度 公益財団法人北海道盲導犬協会 事業計画

管理部門 <法人会計>

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 法人運営に関すること

- 1) 理事会、評議員会を開催する。
- 2) 経営会議を開催する。
- 3) 創立40周年(2010.11)記念事業を開催する。
- 4) その他関連する業務を行なう。

2. 管理に関すること

- 1) 事務の合理的な運営を行なう。運営に於ける経費節減を図る。
- 2) 諸規程の見直しを行なう。
- 3) 公益法人新制度に対応する為、必要なセミナー等へ積極的に参加させる。
- 4) 勤務体制の分析を行なう。
- 5) 中期経営計画の策定を行なう。